

## 令和3年度第3回推進会議以降の主な意見

(令和3年度第3回推進会議、パブリックコメント、市町村意見照会、令和3年度第3回県民会議)

	主な意見	事務局対応案
1	<p>【外食時の食べきりやドギーバッグ活用の促進】</p> <p>令和3年度第3回推進会議（沖縄県環境部）</p> <p>P. 34の22行目は、P. 32の9～22行目と重複するため、項目を修正願いたい。</p> <p>④外食時の食べきりやドギーバッグ活用の促進</p> <p>「3010 運動、ドギーバッグ活用を促進し、飲食店等外食産業における食べ残しの発生抑制に取り組みます。」</p>	<p>飲食店関連事業者に対して食べ残しの発生抑制をはたらきかけるため、下記のような文言に修正した。</p> <p>④外食産業における食べ残し対策の促進</p> <p>「飲食店等事業者に対し、3010 運動、「外食時のおいしく『食べきり』ガイド」を周知することにより食べ残しの発生抑制の取組を促進します。」</p>
2	<p>【各主体に求められる役割と行動】</p> <p>市町村意見照会（浦添市）</p> <p>「地域の特性に応じた当該市町村の区域内における市町村食品ロス削減計画を定め、実施するよう努めます」とあるが、災害廃棄物処理計画のように、市町村食品ロス削減計画のひな形を県で作成してほしい。</p> <p>（30頁 35～36行）</p>	<p>本県の食品ロス削減推進計画は、国の基本方針を基に策定したものであり、市町村計画においても同様の対応となるものと考えている。</p> <p>ご意見を踏まえ、県では市町村食品ロス削減推進計画を策定する際の参考資料として計画のモデルを作成し提供したい。</p>
3	<p>【沖縄県の食品ロス量】</p> <p>市町村意見照会（糸満市）</p> <p>糸満市の調査時期が「令和3年7月及び8月」となっているが、糸満市は1月の調査にも協力しましたが、1月調査結果も加えての数字や文言の修正となりますか。</p> <p>（14頁 8行）</p>	<p>本計画（案）では、糸満市の1月調査結果を反映した数字及び文言に修正した。</p> <p>調査時期：令和4年1月（冬季）を追加</p> <p>家庭系食品ロス量：34,978→35,667修正</p> <p>※他の数字や文言も修正</p>
4	<p>【全国の食品ロス量】</p> <p>市町村意見照会（南城市）</p> <p>食品ロスの半分以上は家庭からとなっています。事業系324万トン、家庭系276万トンとなっており、半分には満たない。6頁9行のように「食品ロスの約半分は」という書き方に統一して良いと思います。</p> <p>（5頁 29行）</p>	<p>ご意見を踏まえ、5頁29行を「食品ロスの約半分は家庭からとなっています。」という表現に、6頁9行を「食品ロスの半分以上は家庭からとなっています。」という表現に修正した。</p>

	主な意見	事務局対応案
5	<p><b>【各主体に求められる役割と行動】</b>  <b>市町村意見照会</b>（与那国町）</p> <p>与那国町では、与那国町食育推進計画の中に食品ロス削減に向けた内容を取り入れ、数値目標「食品ロス削減のために取り組んでいることはない」割合（現状地5.9%→目標値3%）を減らすことを目標としています。</p> <p>消費者、生産者、食品製造業者、飲食関連、行政等とそれぞれのことが記載されています。本町では、地域の伝統行事、祭事においてお供え物やお礼の品にたくさんの料理を作り、食品ロスになっている物も少なくないと感じています。地域の役割についての記載もあるといいと思いました。  (28頁 第2節各主体に求められる役割と行動)</p> <p>上記に関連し、神様やご先祖様は有り余るほどのお供えは「もったいない」と必要としていないことを広報するなど、県民の意識や習慣が変わっていくと良いと思います。  (31頁 2.基本的施策の推進)</p>	<p>県計画における「各主体に求められる役割と行動」に記載された事項は、国の基本方針に倣って「消費者」「農林漁業者・食品関連事業者」「農林漁業者・食品関連事業者以外の事業者」「マスコミ、消費者団体、NPO等」「地方公共団体」に分類して作成したものです。</p> <p>ご意見の「地域の役割」の記載については、「2 基本的施策の推進」(1)教育及び学習の振興、普及啓発の中で、例えば、⑦沖縄県食育推進計画と連携した食品ロス削減の推進、⑩食品ロス削減月間(10月)、⑪県広報媒体等を活用した広報活動(計画案31～33頁)等の施策の取組の中で、地域の役割や特性に応じた食品ロス削減の重要性の理解促進や普及啓発に努めていくこととしたい。</p> <p>参考：  県政広報テレビ番組「うまんちゅ広場」令和3年11月13日、11月14日放送「目指せ！食品ロス“ゼロ”」にて、沖縄県伝統の重箱料理において、残った食品のリメイクレシピを公開している那覇国際高校の取り組みを紹介。</p>
6	<p><b>【沖縄県の食品ロス量】</b>  <b>令和3年度第3回県民会議</b></p> <p>事業系食品ロス量および発生割合、再生利用取組状況などを把握する重要な調査だと思いますが、アンケートの回収率が低すぎます。回答事業所は、意識の高い事業所が多いとも考えられ、どこまで実態を反映できているか不明です。</p> <p>今後、検証時期で調査する機会があれば、回収率向上を重視した取り組み、働き掛けを求めます。  (7頁 12行)</p>	<p>実態調査におけるアンケート回収率は、統計上の信頼度が確保できる回収率となっている。</p> <p>ご意見のとおり回収率を上げることで、業界の実態を、より計画に反映させることが可能と考えられることから、次回以降の実態調査においては、統計上の信頼度を確保しつつ、回収率を上げられるような調査手法を検討した上で、事業者には更なる協力を求めることとしたい。</p>

	主な意見	事務局対応案
7	<p><b>【計画全般】</b></p> <p><b>令和3年度第3回県民会議</b></p> <p>計画の実効性をより高めるため、地域性を踏まえるだけでなく、国内外の取り組みの成功例も積極的に取り入れていきたい。計画期間中に県外の自治体や民間団体とも情報交換できる機会（オンライン可）があれば、実践プランの厚みが増すのではないかと。</p> <p>すべてのページに共通するが、西暦表記と元号表記が混在し、瞬時にイメージしづらい。食品ロス世界的なテーマであり、論旨を分かりやすくするためにも原則は西暦表記とし、必要に応じてカッコ書きで元号を併記するという手法も考えてはどうか。</p>	<p>令和3年度には、食品ロス削減を目的としたシステムを運営している県外の民間企業等と意見交換を行い、沖縄県の地域性にあった制度やシステムについて検討したところである。</p> <p>御意見のとおり、令和4年度以降は、食品ロス削減を積極的に取り組んでいる先進自治体等への調査や意見交換を行いながら、成功事例を取り入れることとしたい。</p> <p>また、西暦表記と元号表記については併記することとし、計画（案）に反映している。</p>
8	<p><b>【基本的施策の推進】</b></p> <p><b>令和3年度第3回県民会議</b></p> <p>沖縄県の肥満の問題がよく取り上げられます。残さずに食べきるのはいいのですが、食べ過ぎの側面も（あると思われます）。</p> <p>保健医療部などと連携した施策は必要ありませんか。</p>	<p>御意見の沖縄県の肥満の問題と関連した食品ロス削減の施策については、「2 基本的施策の推進」（1）教育及び学習の振興、普及啓発』における⑦沖縄県食育推進計画と連携した食品ロス削減の推進（計画32頁）において「健康寿命の延伸に繋がる食育を推進し、栄養バランスに配慮した望ましい食生活の実践を通じて食品ロス削減の重要生に取り組む」こととしており、この施策の所管である保健医療部とも連携して取り組むこととしたい。</p>
9	<p><b>【事業系食品ロス関連】</b></p> <p><b>令和3年度第3回県民会議</b></p> <p>随所に賞味期限の3分の1以内を納品期限とする商慣習と記載箇所があります。すでに沖縄迄の流通時間を考慮し2分の1納品商品も多数あるが、全商品が賞味期限の3分の1以内に納品期限と誤解を生んでしまう表現記載と捉えている。</p> <p>（25頁 6～7行）</p>	<p>「国の基本方針」の「求められる行動と役割」の中で、食品卸売・小売業者に対して「納品期限（3分の1ルール等）の緩和」と記載されていることから、本計画（案）においても国と同様に、「各主体に求められる役割と行動」の一つとして「納品期限（3分の1ルール等）」（29頁16～17行目）と表記している。なお、この「等」には3分の1以外も含んでいるところである。</p> <p>ご指摘の表現箇所は、本県の課題の一つとして、国の基本方針に倣って一般的な納品期限として「3分の1ルール」として表現しているところであり、原文どおりとし</p>

		<p>たい。</p> <p>また、納品期限については2分の1や、それ以外の納品期限もあることが想定されることから、次年度以降の取り組みの中で、関連業界の状況把握を行い緩和策について意見交換をしていきたいと考えている。</p>
--	--	--

### パブリックコメント

	意見なし	
--	------	--